

# 多様な通信ニーズに応える 新・LIN アナライザ登場



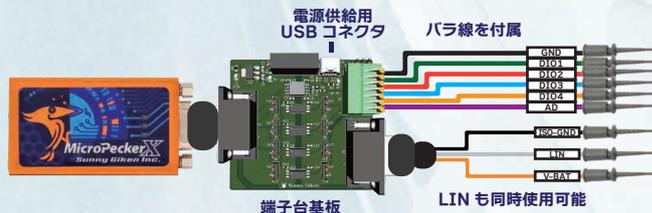
## DIO/AD/SPI インターフェース搭載 LIN 通信アナライザ

### ケーブルには IC クリップを搭載

LIN ケーブルは共通  
簡単・確実にターゲットへ接続可能

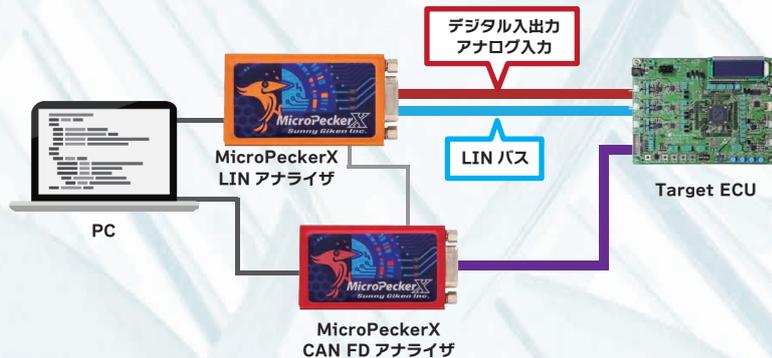


DIO/AD ケーブルは DIO 4CH、AD1CH を接続可能



### CAN/CAN FD 同期

MicroPeckerX CAN FD アナライザと連携し、  
CAN FD、LIN、アナログ、デジタル信号を含めた  
ECU 全体の動きをモニタリング



- LIN マスター・スレーブ機能搭載
- 外部信号インターフェース搭載 (DIO/AD/SPI)
- アナログデータとの同期モニタリングや DIO トリガー連動
- Windows 版 /Linux 版ユーザーアプリケーション開発向けライブラリ提供予定

### 耐電圧性能向上

ハードウェア回路を見直し  
新設計のハードウェアを採用。  
静電気やケーブル逆接続などの  
突発的な過電圧に対して、  
ハードウェア回路を守ります。

### 長時間テストに対応

LIN マスターシミュレーション  
のフレーム送信間隔やパターン  
チェンジタイマーが最大 1 時間  
設定可能。長時間のテストが  
簡単になりました。

### DIO,AD との同期拡張

DIO/AD/SPI の外部信号  
インターフェースを搭載。  
外部入力をトリガーに LIN  
通信のロギングや AD の  
同時モニタリングが可能です。  
(追加ライセンスの予定)

# さらに使いやすく、ユーザー要望に対応

## • LIN Revision の対応範囲が拡大

LIN 1.3 から 2.2A までフルサポート！幅広いバージョンに対応

## • 通信ボーレートの柔軟な設定

500bps から 20,000bps を 1bps 刻みで自由設定、柔軟な通信速度に対応

## • フレーム送信間隔の拡張

送信間隔が最大 1 時間に拡張、長時間シミュレーションを可能に！

## • パターンチェンジタイマーの拡張

パターンチェンジタイマーが最大 1 時間に、複雑なテストシナリオを実現！

## • 送信中のフレーム ID や送信状態の変更が可能

送信中でもフレーム ID や送信状態をリアルタイムに変更可能！

## • Linux 対応アプリケーション開発ライブラリ

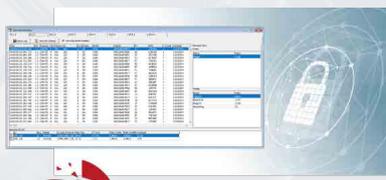
Windows に加え Linux にも対応、開発環境の選択肢が広がる！

## MicroPeckerX 製品ラインナップ

### CAN / CAN FD ツール (発売中)



MicroPeckerX CAN FD Analyzer  
《S810-MX-FD2》



MicroPeckerX メッセージ認証機能プラグイン  
《S810-MX-PM1》



MicroPeckerX InstaGW  
《S810-MX-GW2》

### LIN ツール (開発中)



MicroPeckerX LIN Analyzer  
《S810-MX-LN1》



《開発中》

MicroPeckerX DIO/AD プラグイン

### CXPI ツール (計画中)



《計画中》

MicroPeckerX CXPI Analyzer